

**平成29年度第1回
湖南省環境審議会資料
(平成29年11月21日)**



湖南省総務部生活環境課

湖南省環境基本計画について



湖南省総務部生活環境課

■ 湖南省環境基本計画について

湖南省環境基本計画の概要

湖南省環境基本計画

湖南省の環境未来像*
野洲川の清流
山々の景色
歴史が育む
うつくし湖南
の実現のために

*湖南省の環境未来像とは、21世紀半ばの湖南省のあるべき姿です。

《環境基本計画策定の目的》
この計画は、湖南省環境基本条例に基づいて定められるものであり、右に示す5つの基本的な考え方にそって、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことを目的としています。

自然との調和
環境自治
歴史・伝統文化の継承
良好な生活環境の確保
地球環境の保全

東海清石印刷 65×90mm
印刷：東海清石印刷 印刷センター

☛平成21年策定 ➡ 平成25年～後期計画

☛計画の目標

- ・共生：豊かな自然と地球を未来に残す
- ・循環：環境負荷の小さい社会を築く
- ・快適：健康で良好な生活環境を守る
- ・文化：潤いのある文化的な環境をつくる
- ・協働：みんなが一体となって環境自治を進める



11の『重点プロジェクト』に取り組む

湖南省HP>市の政策・計画・財政>その他計画
www.city.konan.shiga.jp/konan1/shinshi/index.htm

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ①土とのふれあいプロジェクト

①土とのふれあいプロジェクト

農業従事者の高齢化や後継者不足を背景に、耕作放棄地、あるいはその予備軍となる農地の増加が懸念されることから、農業者やNPO等の仲介などにより市民等がこのような農地を活用できるシステムづくりに継続して取り組みます。

利活用にあたっては、市が農業者・NPO等との協働を前提としたふれあい農園や学校教育での子どもの農業体験の場所の開設、また民間事業者が取り組む都市住民をターゲットとしたグリーンツーリズムなどの方策が考えられ、国や県の支援を得て推進します。これらの農業体験を通じて市民等が自然や土とのふれあいを楽しめる一方で、耕作放棄地や遊休農地の有効的な利活用につながることを期待されます。




「稲と子のおにぎり体験」の様子

「遊休農業者協議会 8月」(事務局：JAC四国)主催
「さつまいも収穫体験」(右写真)

数値目標	目標値(平成30年度)
農業体験事業の開催件数	10件/年

市では、農業体験学習を通して児童が生命や食への大切さを学ぶ取組として、市内小学校9校で「たんぼのこ体験事業」を行っている。また、市内の農地所有者と契約して、4か所77区画の「ふれあい農園」を開設している。さらに、親子で稲刈り、露地野菜の収穫体験ができる「稲と子のおにぎり体験」等を毎年1回以上実施している。後期もこれらの取組を継続していく。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
産業立地 企画室	効率的な土地利用を推進する	前年度に引き続き、環境基本計画の「土とのふれあいプロジェクト」にある市民農園の開設や学校教育の一環である米作り体験事業を行った。 また、平成27年度から湖南省から農業戦略を位置づけ、農業振興を図る上で、新たな農業担い手の育成を目的に市民の農業参入を推進するため、市民公開講座である農業塾の実施や野菜の収穫体験事業を新たに実施した。 今後、市民産業交流促進施設隣地にて、市民参加型の収穫体験が可能な農園整備を予定しており、更なる市民の土とのふれあいの場創出を図る。
農林 保全課	農地への農業や化学肥料の使用量を減らす	滋賀県事業「滋賀県環境こだわり農業」で行われている。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
農業体験事業の開催件数	10件/年	16件/年

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ③バイオマス利活用プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
地域エネルギー課	再生可能エネルギー導入促進	平成24年9月に制定した湖南省地域自然エネルギー基本条例に基づき自然エネルギーを活用した取り組みを行っている。バイオマスを活用したプロジェクトの一つに、市内の甲西陸運が学校や企業から廃食油を回収し、BDF精製後、トラックの燃料として活用している。原油価格とのコスト面やBDF燃料の軽油との混合時の税の課題がある。条例に基づき平成27年2月には湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランを策定している。同プランにおいて、バイオマスを活用した取り組みを、バイオマス燃料製造プロジェクトと位置付けし、再生可能な循環資源であるバイオマスを活かし、地域の多様な主体と連携しながら、地域内で生産から加工、消費まで担うことのできるシステムの構築を目指すこととしている。
	自然エネルギーに関する学習会	自然エネルギーに関する市民連続講座を開催している。今年度は年12回開催を行い、このうち11回はバイオマスに関する学習会等となっている。

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト

④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト

阿望山や十二坊・岩根山に連なる南北の緑の山並みや、その中央を雄大に流れる野洲川は、湖南省の風土を形作る重要な要素であります。このように恵まれた自然環境の中で、石部密に代表される東海源宿湯町の町並みや、湖南三山などの歴史的資源が守り育まれてきました。

この取組では個性豊かなこれらの景観資源を守るとともに、市域を縁取る山々への眺望や緑豊かなオープンスペースを育み、ふるさとを風景を生かしたまちづくりを積極的に進めます。

具体的には、景観法に基づく「景観行政団体」(⇒Note参照)として、市独自の景観計画を策定し、市民の景観に対する意識の啓発や市民の主体的な景観まちづくり活動を支援する施策等を総合的に展開し、良好な景観形成の取組を推進します。

取組の例（協働で進める景観まちづくり）

```

graph TD
    A[市民が主役の景観づくりを促進する施策] --> B[市民の意識づくり  
・ 「わがまち一票」を選定  
・ 身近な景観づくりに取り組む  
地域団体への表彰制度の創設  
・ イベント・シンポジウムの開催]
    B --> C[各主体による景観形成の推進]
    D[広報等でのPR  
・ 写真展の開催] --> C
    
```

Note 「景観行政団体」とは？

国は良好な景観の形成を目指した取組を進めるために、平成16年に「景観法」を制定しました。景観法では、景観計画の策定とともに、それに基づく建築物等の形態・高さ・壁面位置等の誘導など、良好な景観形成の実現に向けた各種制度について定めています。景観行政団体は、これらの大部分の事務を実施する主体として位置付けられており、すべての都道府県・指定都市・中核市のほか、都道府県と協議した上でその他の市町村が指定を受けることとなっています。

平成25年9月30日現在で、全国の景観行政団体は508自治体によっています。県内では、これまでに滋賀県をはじめとする13自治体が景観行政団体として指定されており、湖南省は平成25年12月に県内14番目の景観行政団体となりました。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
都市政策課	うつくしふるさと風景づくりプロジェクト	湖南省景観計画を平成27年4月から運用し、地域の個性を活かした景観づくりの推進に努める。重点地区:2箇所【野洲川及び国道1号周辺、三雲地域旧東海道沿道地区】
	景観形成に関する課題、取り組み	平成27年4月から湖南省景観計画を施行し、地域の個性を生かした景観形成に取り組んでいる。また良好な景観形成に大きな要因である屋外広告物に対しても湖南省景観計画と整合を図る必要があるため、独自条例を平成28年12月に制定し、平成29年4月1日から施行する。
土木建設課	道路緑化、街路樹の整備(樹種・整備延長等)	毎年シルバー人材センターに委託し、順次進めている

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑤野洲川「風の道」プロジェクト

⑤野洲川「風の道」プロジェクト

野洲川は市域の中央を流れる開放的な空間を提供しており、湖南省の特色となる軸としてとらえられます。そこで、国・県と協力しながら、景観づくりの取組を通じて野洲川沿いの水と緑のうまい豊かなオープンスペース（「風の道」）を確保し、市民の憩いの場として育みます。

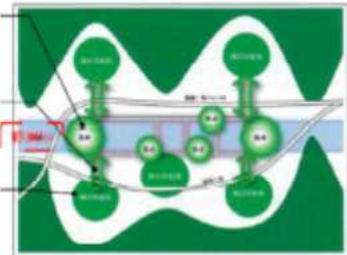
また、地域をネットワークする数歩路等の整備を図り、レクリエーション・スポーツの場として育みます。

写真：野洲川親水公園
出典：湖南省都市計画マスタープラン

■ 副 点
市民が気軽に水と緑の環境に親しむことができる憩いややすらぎの拠点となる公園・緑地として、整備促進に取り組みます。

■ 緑のネットワーク
野洲川周辺の道路整備においては、街路樹や花の寄せ植えなどによる遊憩空間の緑地的な緑化を促進します。

■ 緑の市街地
身近な憩いの場や災害時の避難拠点となる公園・緑地の計画的な配置・整備とともに、緑地が公園・緑地の機能を、周辺地域を連携した緑地空間の整備などに取り組みます。その中で市民の主体的な社会活動を促し、快適な市街地環境を整備します。



■ 野洲川を軸としたネットワークづくりのイメージ

出典：湖南省都市計画マスタープラン





■ 湖南省景観計画「重点地区」としての景観づくりのイメージ
(「湖南省景観づくりの基本方針」をもとに作成)



■ 野洲川の整備方針
平成25年度から策定を進めている湖南省景観計画においては、野洲川を景観重要公共施設として指定する予定です。計画策定後は、その整備方針等に基づいて、関係機関との連携の下で、良好な景観づくりに向けた取組を進めていきます。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
都市 政策課	野洲川「風の道」プロジェクト	野洲川を景観法による「景観重要公共施設」に指定し、河川管理者と連携をはかり景観向上に努める。 河川法の確認業務: 3件 野洲川親水公園魅力向上プロジェクト: 3回実施(平成28年度)
土木 建設課	河川美化活動や一斉清掃などの地区の美化活動	河川愛護活動 43区中 平成27年度42区 平成28年度43区

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑥低炭素のまちづくりプロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	公共施設の緑のカーテンの取組	庁舎や保育園等の公共施設でゴーヤの栽培による緑のカーテンに取り組んだ。 平成28年度 37施設/66施設(56%※目標値60%)
地域エネルギー課	小水力発電を核にした地域ぐるみによる近いエネルギーを活用した地産地消を支援し、農村地域の活性化を図る	県の農村の「近いエネルギー」活用推進事業補助金を利用し、平成年27年度に東寺地区にて農業用水路にピコ小水力発電機を設置。発電した電力を広場の街路灯として活用している。
	太陽光発電等の導入実績	市民等の出資による地域商品券配当型の太陽光発電「コナン市民共同発電所」が、平成25年2月に初号機20kW、同年9月に2号機105kW、平成28年3月に3号機16kW、4号機23kWが設置されている。

数値目標	目標値(平成30年度)	達成値(平成28年度)
公共施設の緑のカーテン取組率	60%	56%
コナン市民共同発電所設置(総出力)	300kw	164kw

■ 湖南省環境基本計画について

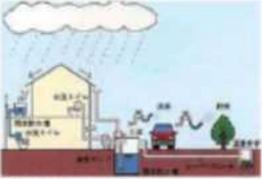
重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑦小さな市民協働ダムプロジェクト

⑦小さな市民協働ダムプロジェクト

これまでのように、変わらなくなった浄化槽などの活用に加え、デザイン性に配慮した雨水タンクの普及を通じて家庭や事業所における雨水の貯留を奨励し、庭木や道路などへの水やりや散水、自動車の洗車等への雨水利用を促進します。

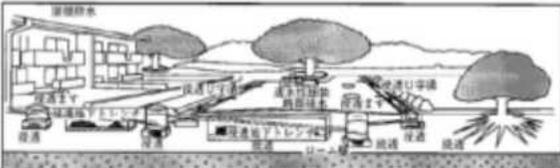
また、市の取組としては流域の健全な水循環の確保に向けて、雨水タンクの設置奨励、公共工事における透水性舗装の採用などに取組みます。こうした小さな市民の取組や市の取組の積み重ねによって大規模ダムの機能を代替する、環境負荷の小さいまちづくりを進めます。



雨水利用システム図 (出典: 東京都環境局)



木樽型にデザインされたおしゃれな雨水タンク (出典: 東京都江都市ホームページ)



雨水浸透施設の設置例 (出典: 環境共生の都市づくり)

取組の流れ

```

    graph LR
      A[市] --> B[取組]
      B --> C[雨水浸透促進]
      B --> D[透水性舗装]
      C --> E[地下水涵養]
      D --> E
      F[市民] --> G[取組]
      G --> H[雨水浄化槽]
      G --> I[雨水タンク]
      H --> J[水やり、散水、洗車などへの活用]
      I --> J
  
```

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	雨水タンクの利用促進	雨水タンクを設置し、緑のカーテン事業のゴーヤの栽培の水やりに活用した。
土木建設課	雨水浸透施設等の整備状況	現在事例なし。開発業者が浸透する整備をした場所はあるが雨水の利用はない。

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

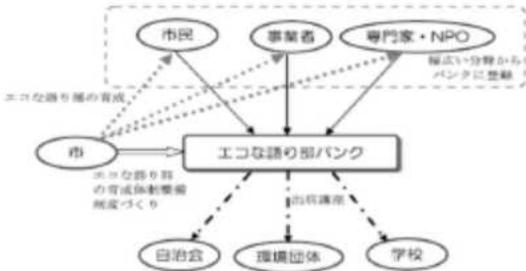
湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑧エコな語り部プロジェクト

⑧エコな語り部プロジェクト

市民・事業者が環境に関する経験やノウハウを共有することをねらいに、エコドライブや省エネルギー、節水、ごみの分別などをテーマとした出前講座を企画・開催し、地域への普及を図る人材を「エコな語り部」として育成します。

この「エコな語り部」は、環境活動に取り組むNPOや環境活動団体、事業所、環境カウンセラーなど、様々な分野から幅広く環境の専門家を募り、「エコな語り部バンク」に登録してもらいます。

また、学校・自治会・事業所・環境団体等の環境に関する学習会や、出前講座に講師として出向き、環境問題への理解を地域へ広げることで、新たな「エコな語り部」の育成を図ります。



数値目標	目標値(平成30年度)
出前講座等の開催回数	10回/年



湖南省環境基本計画の推進の様子（平成25年9月27日開催）
（テーマ：「リサイクル」・「節電」・「省」から考える環境化対応）

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等				
生活環境課	環境学習等の出前講座	地域の環境活動団体と滋賀県の協力を得て小学校1校で水質検査の学習会を実施。工業団地協会の協力を得て、中学校1校で水質検査の学習に参加。地域の子ども会で地域の川や琵琶湖の水質に関する環境学習に講師として参加。市民向けの行事で廃油回収とリサイクルのPRとして石けんづくり体験を実施した。				
	エコな語り部バンク	個人や団体を「エコな語り部」として環境学習に関する分野毎に登録。環境学習等の出前講座に講師協力している。				
	地球温暖化対策に対する取り組み	地球温暖化防止センターと協力し、市民向けの行事の中で啓発活動を実施した。				
生涯学習課	地域の歴史を勉強する環境学習会や講座などを企画・実施する	文化財講座として、市職員が講師となり「湖南省の歴史講座(全5回)」「学芸員が語る湖南省の歴史講座(全5回)」を開催したほか、外部講師による講座も実施。のべ158人の市民の参加があった。そのうち、環境に関わるものとしては「湖南省の歴史と水との関わり」(6/14開催)を実施した。今後も取組を継続する予定。				
	数値目標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">目標値(平成30年度)</th> <th style="width: 33%;">達成値(平成28年度)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10回/年</td> <td style="text-align: center;">5回/年</td> </tr> </table>	目標値(平成30年度)	達成値(平成28年度)	10回/年	5回/年
目標値(平成30年度)	達成値(平成28年度)					
10回/年	5回/年					
	出前講座等の開催回数	5回/年				

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑨平成義民(環境ボランティア)プロジェクト

⑨平成義民(環境ボランティア)プロジェクト

湖南省には、天保義民や十二坊の植林活動など、環境自治の歴史ともいえる風土が根づいています。このような歴史に刻まれたボランティア精神に学び、この環境基本計画で掲げられた各重点プロジェクトや地域の環境活動などを中心となって取り組む市民・事業者を募り、平成義民(環境ボランティア)として活動を支援します。

また、市民は先人のボランティア精神を学ぶことから始め、環境ボランティア宣言を行い、各重点プロジェクトへ積極的に参加し、環境活動の取組を通じて、環境自治の意識を醸成するとともに、地域に根づく環境自治活動を推進します。また、表彰等を通じて、これらの環境自治活動を推奨します。

数値目標	目標値(平成30年度)
平成義民宣言人数	60人

写真提供：市役所
出典：湖南省環境基本計画

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

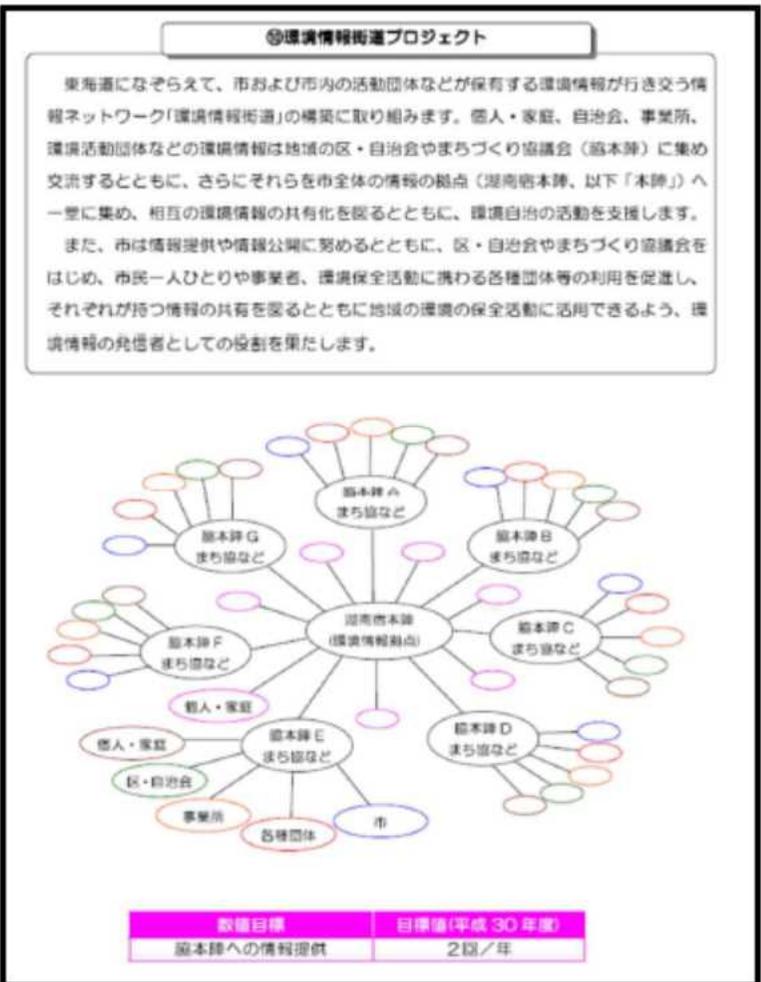
	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	環境ボランティアの取り組み	重点プロジェクト⑧エコな語り部プロジェクトで登録された「エコな語り部」は出前講座等にて講師として環境活動に協力している。
生涯学習課	地域の環境学習に関する取り組み状況	淡海生涯カレッジの開催については平成26年度で終了。今後は、「地域づくり型市民大学」構想のなかで取り組みを進めることを選択肢のひとつとして提案する。

数値目標	目標値(平成30年度)	達成値(平成28年度)
平成義民宣言人数	60人	30人

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑩環境情報街道プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	まちづくり協議会や企業などと協力して環境情報ネットワークを構築する	湖南・甲賀環境協会と連携し、管内事業所と合同での環境事故訓練に参加した。また、湖南省内の事業所との環境情報交換会に参加し、事業所での環境への取り組みや湖南省の環境行政の動向等について情報共有を行った。臨本陣(まちづくり協議会)への情報提供は実施できていない。
農林保全課	市内の生き物調査を毎年継続して調査する	県地域整備課指導によりビオトープがなされ、生き物調査を継続して実施している。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
臨本陣への情報提供	2回/年	0回/年

■ 湖南省環境基本計画について

重点プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑪環境作法書プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

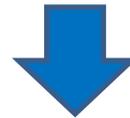
	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	作法書の作成	市からの情報を集約しているが、市民・事業者からの環境作法に関する情報は収集できていない。 今後ホームページ等を活用して情報収集とPRに努める必要がある。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
作法書の作成	2回/年	0回/年

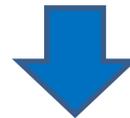
■ 湖南省環境基本計画について

環境基本計画の評価・見直し

平成21年9月 湖南省環境基本計画策定



平成26年3月 湖南省環境基本計画中間評価
重点プロジェクト後期実施計画策定



平成30年度～ 湖南省環境基本計画最終評価・見直し

生活環境保全の取組について



湖南省総務部生活環境課

生活環境保全の取組について

湖南省生活環境保全条例

【生活環境影響事業の事前協議】

第19条 生活環境影響事業を行おうとするものは、当該事業の実施の際に環境に配慮する事項に関し、市長と協議しなければならない。

生活環境影響事業	
店舗・病院等	床面積1,000㎡以上
工場等	床面積100㎡以上 敷地面積300㎡以上
給油取扱所	政令に規定するもの
飲食店等 動物飼育施設	敷地面積、飼育頭数 等により該当
市長が影響が大きいと認める事業	



必要な手続き	
市への事前相談	条例第17条
住民への事前周知 市への報告	条例第18条 規則第4条
市への事前協議	条例第19条 規則第5条～9条

■ 生活環境保全の取組について

湖南省生活環境保全条例

【環境保全協定】

第42条 市長は生活環境保全のため必要があると認めるときは、環境保全に関する協定を締結することができる。

環境保全協定締結事業所数

151社

内

上乗せ規制等の締結事業所数

大気	水質	騒音	振動	悪臭
7社	21社	17社	3社	39社

平成29年10月31日時点

■ 生活環境保全の取組について

工場立入調査について(滋賀県事業)

【平成28年度湖南市工場立入調査の指導状況】

業種	指導の内容等	対応等
製造業 5社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出

平成28年度は18事業所で実施

生活環境保全の取組について

公害・苦情の対応について

【所管行政機関】

区分	公害・苦情	所管行政機関
大気	大気汚染 等	県)環境事務所
水質	事業所排水、油漏れ、水質汚濁 等	県)環境事務所
騒音	工場設備、作業音等への苦情 等	市)生活環境課
振動		市)生活環境課
悪臭	悪臭物質濃度、事業所排気の臭気、塗装等の臭気の苦情 等	市)生活環境課

生活環境保全の取組について

公害・苦情の対応について

【平成28年度の市の対応状況】

苦情内容	大気・粉じん	水質汚濁	油の流出	騒音	悪臭	野外焼却	合計
H28 件数	1 (0)	8 (4)	4 (2)	3 (3)	15 (5)	16 (4)	47 (18)
H27 件数	0	3 (0)	8 (3)	4 (2)	6 (2)	13 (6)	34 (13)

()内は事業所による案件

■ 生活環境保全の取組について

環境調査について

【平成28年度環境調査実施状況】

調査種別	調査概要
大気環境調査	大気の概況調査、工場排ガス調査等
水質調査	河川水質の概況調査、工場・事業所排水の水質調査等
ダイオキシン類調査	市内廃棄物処理関連施設のダイオキシン類濃度調査
環境放射測定調査	環境放射線レベルの調査